

看護部だより ひまわり

2022年11月
発行責任者 田口 弥生

VoL.80

→ 院内災害トリアージ訓練に参加して

外来副師長 濱田

10月25日、災害トリアージ訓練に参加しました。押し寄せる患者の対応に四苦八苦。いつもの救急外来として対応すればいいのに大慌て。トランシーバーの使い方が、今一つわからない等々。これが実際の災害ならパニックになると思いました。今回は訓練でありましたが、このままでは大規模災害が起きた場合、円滑な受け入れはできません。訓練を重ねていく事や災害時の対応ができる人材をもっと増やさなければなりません。今後、起こりうる災害に備え、病棟スタッフも訓練に参加すること、訓練でできなかったことを洗い出し、PDCAサイクルを回しながら実践に備えましょう。



【現場指揮本部】



【Walk in 受付】



【ブースごとの患者対応】



→ 第36回 市民病院学術発表会に参加して

手術室主任 宮内

業務改善の目的から、術中看護記録の見直しとして、テンプレートとSOAP記録を併用して行っていた手術室パスの作成に取り組んだ内容の発表を行いました。各スタッフのSOAP記録を分析し、他施設の見学や資料集めなど麻酔+体位別に26項目のパスを作成し、完成までに約3年かかりました。テンプレートとSOAP記録を記述式で行っていた時と比較して、観察項目の統一化や記録時間が短縮されたことで、業務改善につながったのではないかと思います。

しかし、患者特有の個別的な問題点や観察しなければならない内容がほとんど記載できていない現状があったため、今後の課題としてフリー欄を活用し、どの様な看護を行ったか分かる記録を目指していきたいと思います。





普通救命講座 講師としての活動報告

4階東病棟 林

6月に応急手当普及講習会を受け、院内の普通救命講座の講師の一人として担当させていただきました。急変というものは入院患者さんに限らず、外来患者さんやご家族、もしかしたら当院職員が陥ることもあり得ます。そんな時、院内であればコードブルーを押せばすぐに医師や看護師が駆けつけてくれますが、それまでの僅かな時間や日常生活の中で、緊急の対応時にCPRやAEDを実践できることが望ましいです。今回の研修対象には、事務部やリハビリの方々も参加しており、とても一生懸命に講義と実技を受けていただきました。これからも、誰かの命を救うための行動ができる技術も持っていたら幸いです。



4階西病棟 轟原

5月に3日間の救命普及指導員の研修を受け、今回、院内スタッフのBLS取得に向けて、指導者として関わらせて頂きました。指導するにあたり、確実な手技の獲得と、実際に現場に遭遇した際に行動できるよういかにポイントを押さえ、指導することができました。難しさと重要性を知ることができました。また、研修から2ヶ月たち指導にあたった際に忘れていたこともあり、繰り返し復習する必要があると感じました。



急変時シミュレーション実施報告

4階西病棟 松浦

4階西病棟では、6月に救急カートの薬剤や物品、気管内挿管の物品準備や人工呼吸器が使用できる病室の確認を行いました。7月は心肺蘇生訓練用人形を使用し、胸骨圧迫・気道確保・人工呼吸を実施しました。そして、9月に夜勤看護師4人の設定で心肺停止を発見してから救命までの流れを実施しました。緊急コールが鳴り、限られた人数の中でリーダーが指示を出すことの重要性、自分が何をしなければいけないのかを考え行動する難しさ、患者対応に集中しすぎて周りが見えなくなり、急変時の患者情報を医師に伝えられず蘇生が始まった事が大きな反省でした。今後、トレーニングを繰り返し行い、スタッフ同士で声を掛け合いながら、自信を持って実践できるように今後も計画的に進めていきたいと思えます。





→ <看護協会主催>



「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」を受講して【Zoom研修】

HCU主任 古菌

8月9日に日本看護協会主催「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」を受講しました。看護補助者の役割を理解し、安全で効率的な業務実施体制の整備に活用する知識習得を目的とする研修でした。グループワークでは、他施設の看護管理者と話す機会があり、看護職と看護補助者がコミュニケーションをお互いに取り合うことを心がけ、報告・連絡・相談をしっかりと行うことで安全な医療の提供につながるのではないかと意見がありました。看護補助者のみならず全職種と連携を図り、今回学んだ事を業務に活かし、安全な医療提供に努められるようにしていきたいと思えます。

「専門職としての第一歩」【Zoom研修】 ～看護師としての自覚と責任ある行動について考える～を受講して



3階東病棟 大六野

研修にていくつかの課題を元に看護倫理について考え、グループワークを通して他の病院で働く同期の方々と意見交換を行いました。入院する患者さんの中には自分の思いを正しく言葉で私達に伝えることが出来ない方が多くいらっしゃいます。そうでない患者さんも含めて全ての患者さんにとって入院生活が苦痛だけの時間にならないよう、普段から一番良い看護は何か考え、発言、反応、ボディランゲージから読み取り、丁寧なケアを行っていききたいと思います。

4階東病棟 古川

今回初めて他施設で働いている新人看護師と、Zoom内で現状や気をつけていることなど様々な意見を聞くことができました。タイムスケジュールの管理や優先順位の付け方、業務に追われて患者との関りが少ないなど、同じように悩んでいることが分かりました。困っていることに対して、どのように対応していくかなど話合うことができ、大きな励みになり貴重な体験になりました。

4階西病棟 山口

今回の研修では、看護師としての、患者さんへの関わり方について学びを深める事が出来ました。入職して時間が経つにつれ、患者と関わる時間が減り、業務に追われていました。しかし、入院している患者ひとりひとりに考えや思いがあって、それを尊重しながら関わらなければいけないと思いました。また、他病院の新人看護師がどのような看護を行っているのか情報共有もできたため、これからの自分の看護につなげていきたいと思えます。



4階東病棟 小集団主催の勉強会に参加して

今回私は、化学療法・呼吸不全についての勉強会に参加しました。4階東病棟は、循環器・呼吸器内科病棟として、悪性腫瘍に対する化学療法や呼吸器不全を罹患し、酸素療法や人工呼吸器装着を行う患者も多くいます。特に呼吸器疾患に対する化学療法については、薬剤の種類も多いため適応や作用・副作用を把握することの大変さを日々感じています。勉強会での内容を踏まえて、抗がん剤投与時の副作用の有無や副作用発生時の対応、日々のスキンケアに活かし、呼吸不全患者に対するケアの向上に活かしていきたいと思います。

4階東病棟 久保



マイブーム



最近のマイブームではないですが、10年以上ファンを続けているものがプロ野球です。埼玉西武ライオンズのファンで、コロナ前は福岡、埼玉、宮城と観戦に行っていました。いつか12球団の本拠地観戦を制覇するのが夢で、コロナが明けたらまずはパリーグの札幌、千葉、大阪に行ってみたいです。鹿児島はソフトバンクファンが多く、西武ファンは肩身が狭いですが、野球好きな方は声をかけてもらえると嬉しいです。

4階西病棟 福永

Lions



編集後記

院内研修の予定は終了しました。後期に入り、課題の実践やeラーニングの視聴、学会・研修参加等、引き続き取り組んでいきましょう。

松下

